

誓いの言葉

本日は、私たち新入生のために、このような新たな一步を踏み出すにふさわしい門出をお祝いして頂き、心より感謝申し上げます。

春らしさを感じる今日のこの良き日に、宮崎県立看護大学第25期生として入学できたことは、私たちにとって大変大きな喜びです。

また、先程平野学長から頂きました温かい励ましのお言葉を胸に抱き、それぞれの目標に向かって大きく前進して参ります。

近年、医療、看護の現場において、少子高齢化、人口減少、感染症蔓延など大きな変動が訪れています。それに伴い、人々の価値観、QOLも多様なものとなっています。

最善の看護とは何かを考え、日々の自己研鑽を大切に、時代の変化に的確かつ柔軟に対応していかなければなりません。

そのためにも、4年間において専門的知識や技術の習得に努め、豊かな感性や発想力を身につけていき、これからの社会や地域からの多様なニーズに対応できる看護職者を目指します。

また、共に歩み始める仲間との縁を大切に、互いに尊重し、高め合える関係を築きたいと思えます。

私たちを支えてくださる方々への感謝の気持ちを忘れず、宮崎県立看護大学の学生としての自覚と高い志を持ち、日々精進し続けることを決意し、誓いの言葉と致します。

令和3年4月5日

新入生代表 児玉 花蓮